

平成14年9月26日

各 位

本社所在地 大阪市中央区内平野町三丁目1番3号
会社名 株式会社カプコン
代表者の役職・氏名 代表取締役社長 辻本憲三
コード番号 9697
決算期 3月31日(中間決算9月30日)
連絡者の役職・氏名 取締役副社長 大島平治
電話番号 (06)6920-3611

業績予想の修正について

1. 業績予想(単独)の修正について

(1)平成15年3月期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)の業績予想については、平成14年5月13日決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

中間期(平成14年4月1日~平成14年9月30日)

(単位:百万円)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	百万円	20,500	1,950	1,100
今回修正(B)	百万円	17,600	1,150	13,200
増減額(B)-(A)	百万円	2,900	800	14,300
増減率	%	14.1	41.0	-

通期(平成14年4月1日~平成15年3月31日)

(単位:百万円)

	単位	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	百万円	51,000	6,650	3,800
今回修正(B)	百万円	48,100	5,850	10,500
増減額(B)-(A)	百万円	2,900	800	14,300
増減率	%	5.7	12.0	-

(2) 上記修正の理由は以下のとおりであります。

当中間期は、国内市場がけん引ソフトの不足などによる市況軟化のもと、プレイステーション2向けの新作「アウトモデリスタ」や「ガンサバイバー3 ディノクライシス」が伸び悩むとともに、「バイオハザード0」（ニンテンドーゲームキューブ用）が下期にずれ込んだことなどにより、弱含みに展開しております。

一方、当社はグループ全体の経営効率を高めるため、中長期的な視点に立って、子会社を含めたグローバルな事業構造の再構築を志向しておりますが、当社の土地、建物の帳簿価額は時価に比べ下落しており、その潜在差額の解消は喫緊の重要課題と認識しております。

また、帳簿価格と時価の財務バランスの改善を図るとともに、投資家や株主の信頼確保等を勘案し、土地、建物などを前倒して損失処理することにいたしました。

なお、この結果、売上高、経常利益、当期純利益とも当初の予想を下回る見込みであります。

また、通期につきましても、「デビルメイクライ2」（プレイステーション2用）や「バイオハザード0」（ニンテンドーゲームキューブ用）など有力タイトルの投入により増勢に転じますものの、景気低迷の持続や成長率の鈍化、競争激化などにより、上期の落ち込みを吸収することは難しい情勢のため、売上高および経常利益は当初の予想を下回る見込みであります。当期純利益につきましても上期の特別損失計上により、遺憾ながら当初の予想を下回り、当期純損失となる見込みであります。

(3)ご 参 考 前期の実績（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	17,577	1,642	921
通 期	45,015	5,837	3,342

2. 業績予想（連結）の修正について

(1)平成15年3月期（平成14年4月1日～平成15年3月31日）の連結業績予想については、平成14年5月13日連結決算発表時の業績予想を下表のとおり修正いたします。

中間期（平成14年4月1日～平成14年9月30日）

（単位：百万円）

	単 位	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	百万円	25,500	2,050	1,100
今回修正（B）	百万円	25,650	1,300	17,800
増減額（B）-（A）	百万円	150	750	18,900
増 減 率	%	0.6	36.6	-

通 期 (平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位：百万円)

	単 位	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A)	百万円	70,500	10,050	5,900
今 回 修 正 (B)	百万円	70,500	10,050	12,700
増減額 (B) - (A)	百万円	0	0	18,600
増 減 率	%	-	-	-

(2) 上記修正の理由は以下のとおりであります。

当中間期は、プレイステーション2、ニンテンドーゲームキューブおよびXboxの各ハード価格の値下げが奏効するなど、好調な米国市場に支えられ「バイオハザード」(ニンテンドーゲームキューブ用)や廉価版の「鬼武者グレイテストヒッツ」(プレイステーション2用)などが好調に推移しているため、売上高は計画を確保できるものの、利益面につきましては、売上高販管費率の上昇等により、経常利益は当社単独の計画未達をカバーするまでには至らず、また当期純利益につきましても単独の特別損失計上により、当初の予想を下回り、当期純損失となる見込みであります。

なお、通期につきましては、欧米でのゲーム機価格の値下げに伴う普及拡大や堅調な市場環境などにより、需要の盛り上がりが見込まれるため、特にカプコンU.S.A株式会社の好伸により増収増益が見込まれますため、当社単独の落ち込みを吸収し売上高および経常利益は当初の予想に変更はありませんが、当期純利益につきましては単独における上期の特別損失計上により、当初の予想を下回り当期純損失となる見込みであります。

(3) ご 参 考 前期の実績 (平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
中 間 期	23,376	2,400	1,409
通 期	62,742	9,261	4,912

以 上